

# 水稲・大豆の生育と管理

令和4年10月号  
大分県北部振興局集落営農・水田畑地化班

## 水稲 ◎令和4年産の生育概況

生育初期の7月の気温は平年より高く推移し、日照時間は平年より少ないか平年並でした。8月上旬まで高温、日照は平年並となり、草丈は平年より高く、茎数は平年よりやや多い傾向です。出穂期は平年並みからやや早くなっていますので、今後の気温が高く推移した場合は、成熟期が早まる可能性があります。

成熟期の予測は下表を参照して、収穫の準備は早めに行いましょう。

また、台風接近が予測される場合は稲体の損傷や脱水を軽減するために、畦畔崩壊のおそれがない場合に限って深水湛水する。

### 〈令和4年産ヒノヒカリの成熟期予測〉（8月29日現在）

院内	田植え日	6月10日	6月15日	6月20日	6月25日	6月30日
	成熟期予測	10月5日	10月7日	10月10日	10月14日	10月18日

※アメダス院内の気象データによる予測です。

宇佐	田植え日	6月10日	6月15日	6月20日	6月25日	6月30日
	成熟期予測	10月3日	10月5日	10月7日	10月10日	10月13日

※大分県農林水産研究指導センターの観測データによる予測です。

※上記は目安です。圃場を確認し、青粳率20%で収穫しましょう。

※にこまるは上記より+5日が目安です。

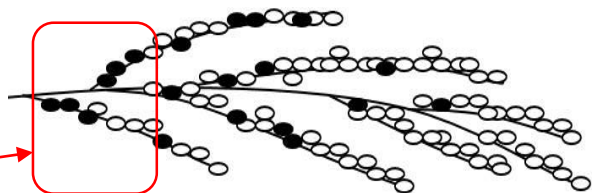
## ◎適期収穫で品質向上 収穫が早くても遅くても品質低下します！

- ・収穫適期を逃すと品質が低下します。
- ・適期に収穫を行い品質の向上に努めましょう。
- ・早刈りでは、収量の低下に加えて、未登熟粒、青米が混入します。
- ・また、遅刈りでは倒伏による減収が懸念されます。さらに、茶米、乳白米、胴割米が発生し、等級の低下につながります。

## ◎水稲の収穫適期の判定

- ・収穫適期は粳の色で判断します。
- ・収穫の目安は青粳率20%。
- ・青粳率20%の目安としては、  
下側2本の枝梗の根本から3粒程度  
に青粳が残っている状態です。

～青粳率20%の穂の模式図～



○：成熟粳 ●：青粳

## ☆宇佐市ジャンボタニシ駆除対策事業☆

主食用水稲の不作要因であるジャンボタニシ駆除薬剤の購入費の一部を助成します。

※国の定める登録薬剤に限る(石灰窒素は除く)

●申請締切 令和4年11月30日 まで

詳細は、宇佐市 農政課 農村振興係までご連絡ください。(☎0978-27-8157)

# ◎いもち病、カメムシ、トビイロウンカ（秋ウンカ）の防除

8月22日に斑点米カメムシ類について注意報が発表されています。こまめに圃場内を確認し、発生を確認したら早急に防除を行いましょ。成熟期の遅い晩生品種、飼料用品種は特に注意が必要です！



イネカメムシ (標本 12-13mm)

## 〈いもち病、カメムシ、ウンカ類に対する防除剤〉

用途			薬剤名	希釈倍率	10aあたりの散布液量(使用量)	使用時期	備考
主食用	飼料用	WCS					
○	○	○	トレボン粉剤DL	—	3~4 kg	収穫7日前まで	即効性・ウンカによる坪枯れ時に使用
○	○	○	アブロードスタークルゾル	1000 倍	60~150 L		カメムシ、ウンカに効く
○	×	×	ビームエイトスタークルゾル	1000 倍	60~150 L		いもち病、カメムシ、ウンカに効く
○	×	○	ラブサイドスタークルフロアブル	500 倍	60~150 L		

※飼料用米、稲WCSは出穂期以降使用できる農薬に制限があります。

※薬剤ごとに使用回数が決まっています。ラベル等をよく読み使用しましょう。

## 大豆 収穫準備

- ・ヒユやホオズキ等の雑草や青立ち株は、必ず収穫前に抜き取りましょ。
- ・コンバイン内で青立ち株や雑草の汁が大豆に付着し汚損粒の原因となります。

### ◎難防除雑草対策

～雑草の種子をほ場内に残さない！～  
難防除雑草の蔓延が問題になっています。

#### ・蔓延を防ぐポイント

雑草が開花、結実前に防除し、種子を作らせないようにましょ。

#### ・圃場内で見つけたとき

早急に刈り取り・抜き取りを行うか、非選択性除草剤で防除ましょ。

抜いたり刈り取った株でも種子が後熟し、発芽能力を持つことがあります。

抜き取ったり、刈り取った雑草は放置せずにはほ場の外に持ち出ましょ。



ホオズキ類



アサガオ類



ツククサ類

## ☆周辺に配慮した農作業を！

トラクターやコンバインでの圃場作業後、公道を走行する前にタイヤ等についた泥は圃場内で落とし、公道に泥を落とさないよう注意ましょ。

住宅地付近での早朝や深夜の作業の際には、騒音等への配慮ましょ。

## ☆農作業中の事故に注意！

トラクターの転倒事故や整備中の事故、手こぎ中の事故の事例があります。

農作業はあわてず、あせらず行い、安全確認を徹底し事故に十分注意ましょ。

